

6. 所在地別緑区遺産一覽

【いぶき野】

いぶき野 1-2 付近 …… ②岩川堰 (P.21～24)
いぶき野 41-5 付近 …… ③横浜線の岩川橋梁 (P.21～24)

【鴨居】

鴨居 2-4 (林光寺境内) …… ⑧奇利吹の瀧 (P.5・6)
鴨居 4-13-1 …… ⑤鴨居杉山神社の絵馬 (P.7・8)
鴨居 7-32 …… ⑥ごぼん塚 (P.9)

【北八朔町】

北八朔町 1777-1 …… ⑩旧山下小学校 木造校舎・校門 (P.16)

【小山町】

小山町 624 …… ⑨小山村殿様荒川氏陣屋跡 (P.15)
小山町 670 付近 …… ⑨恩田川の念仏橋跡 (P.13・14)

【台村町】

台村町周辺 …… ①緑新栄会 界限 (P.11・12)

【長津田】

長津田 6-21-19 付近 …… ⑭旧大道と神奈川道分岐の道標 (P.21～24)

【長津田町】

長津田町 5617 …… ⑫高尾山 (P.25)
長津田町 5617 …… ⑫一等三角点「長津田村」(P.26)
長津田町 5724 …… ⑫長津田統制無線中継所跡 (P.26)

【長津田みなみ台】

長津田みなみ台 7-33-18 …… ⑪餅塚 (P.21・22)
(上の原公園内)

【白山】

白山 2-35 …… ④白山神社の碑 (P.7・8)

【東本郷】

東本郷 2-16 …… ③東本郷第一公園からの山岳展望 (P.5・6)

【三保町】

三保町 500 …… ⑩大山道道標 (P.19・20)
三保町 930-8 …… ⑩念珠坂 (P.19・20)
三保町 1427-3 付近 …… ⑩杉沢堰 (P.17・18)
三保町 1427-3 付近 …… ⑩神明谷戸 お滝様 (P.17・18)
三保町 2038 (善城寺境内) …… ⑮山田右京之進城跡碑 (P.13・14)
三保町 2453 付近 …… ②久保谷戸 お滝様 (P.11・12)

7. 参考文献等

- ・「緑区遺産」登録申請書
- ・百瀬敏夫「一九三五年神奈川県名勝・史蹟投票：横浜貿易新報社四五周年記念事業」『市史通信(6)』横浜市.2009年
- ・横浜市緑区「鴨居駅周辺の魅力マップ：皆でつくる住みよいまち」横浜市緑区役所区政推進課企画調整係.2011年
- ・横浜市政策局政策課『調査季報：横浜の政策力 87号』横浜市政策局.1985年
- ・深谷市「畠山重忠辞典：武蔵武士の鑑 畠山重忠公について学ぶ」深谷市教育委員会.2020年
- ・横浜市埋蔵文化財センター『鴨居原遺跡発掘調査報告書：緑区鴨居原地区農家土地基盤整備事業に伴う埋蔵文化財調査報告書』横浜市埋蔵文化財センター.1990年
- ・鴨居史編集委員会『鴨居史』鴨居史刊行委員会.2001年
- ・横田静見『創立記念八十周年の歩み』横浜市立鴨居小学校.1954年
- ・緑区郷土史研究会『都筑の丘そぞろ歩き 1』緑区郷土史研究会.1978年
- ・岩沢滝蔵『横浜市緑区小山町郷土誌稿』緑区小山町自治会.1981年
- ・神奈川県高等学校教科研究会社会科歴史分科会『神奈川県史の歴史散歩』山川出版社.1987年
- ・相澤雅雄『横浜・緑区 歴史の舞台を歩く』昭和書院.1991年
- ・加藤友康, 高埜利彦, 長沢利明, 山田邦明『年中行事大辞典』吉川弘文館.2009年
- ・横浜市歴史博物館『中世よこはまの学僧印融：戦国に生きた真言密教僧の足跡』横浜市歴史博物館.1997年
- ・相澤雅雄『緑区遺産三保地区巡り！：「緑区制50周年記念J」相澤雅雄.2019年
- ・神奈川新聞社, 横浜市市民活力推進局『横濱 YOKOHAMA：横浜の坂道散歩をお楽しみください！2008年秋号 Vol.22』神奈川新聞社.2008年
- ・林房幸『長津田の歴史を訪ねて：長津田風土記』林房幸.1985年
- ・長津田の歴史を活かしたまちづくり研究会, 横浜市緑区役所「長津田歴史探訪マップ：皆でつくる魅力あるまち」長津田の歴史を活かしたまちづくり研究会.2014年
- ・横浜市立長津田小学校『わたしたちの長津田』わたしたちの長津田編集委員会.1985年
- ・十日市場小学校(横浜市立)『十日市場の歴史』横浜市立十日市場小学校.1978年
- ・緑区史編集委員会『横浜緑区史 資料編 第1巻』緑区史刊行委員会.1985年
- ・緑区郷土史研究会『都筑文化』緑区郷土史研究会.1980年
- ・『高尾原に暮らす』長津田自治会.平成29年
- ・『長津田無線史』日本電信電話公社東京無線通信部.昭和32年
- ・『電気通信自主技術開発史 多重無線編』日本電信電話公社技術局電気通信自主技術開発史編集室.昭和47年ほか

緑区遺産 ちょい散歩

令和4年3月発行 令和8年1月第5版

企画・発行：横浜市緑区役所 区政推進課 広報相談係
〒226-0013 横浜市緑区寺山町118番地
☎045-930-2219 FAX045-930-2225

緑区遺産 散策マップ

緑区遺産

ちょい

散歩



緑区キャラクター「ミドリン」



緑区内には地域の皆さまに愛されている「緑区遺産」がたくさんあります。

この冊子では、緑区遺産とそれにまつわる豆知識や近くの散策スポットを紹介しています。

冊子を片手に気軽に“ちょい”っと散歩してみませんか。

目次

- 1. 緑区遺産について P.1
- 2. 散歩時の注意 P.2
- 3. 冊子の見方 P.2
- 4. 緑区全体図 P.3 ~ P.4
- 5. 緑区遺産紹介 P.5 ~ P.26
- 6. 所在地別緑区遺産一覧 P.27
- 7. 参考文献等 P.27

1. 緑区遺産について

◆ 緑区遺産とは . . .

緑区内に現存する有形の歴史的・自然的・文化的資源で、その価値が地域に認められているものです。緑区内に残る貴重な資源を区民共有の財産として将来にわたって残していくことを目的としています。



◆ 登録の要件 . . .

- 登録申請者は団体であること
- 登録について所有者の承諾を得ていること
- 登録団体による見守りが継続して行われること
- 登録の目的が政治的でないこと、また布教目的でないこと

緑区遺産になると、緑区役所が広報などで協力します。登録したいときは、まずは緑区役所 区政推進課 広報相談係まで、電話や窓口でご相談ください。

緑区役所 区政推進課 広報相談係
所在地：横浜市緑区寺山町 118 番地
窓 口：緑区役所 1 階総合案内
☎ : 045-930-2219



緑区 web ページ

2. 散歩時の注意

! 散歩時の注意 !

緑区遺産を巡るときは、ルールやマナーを守って散歩を楽しんでください。トイレがないルートが多いため、お手洗いは散歩前に済ませてください。

- 緑区遺産は私有地内（寺社等）に存在するものもあります。所有者の迷惑とならないよう行動してください。また、寺社の中に入る場合は、お参りに来ている方の迷惑とならないよう声の大きさ等には注意し、人とすれ違う時には気持ち良くあいさつを交わしましょう。
- ごみは必ず持ち帰りましょう。
- 植物や生物を採取したり、持ち帰ったりしないでください。
- 立入りが禁止されている場所には入らないでください。

3. 冊子の見方



- 1 緑区遺産登録番号
緑区遺産登録名称
- 2 最寄り駅・バス停
主な路線を掲載（令和4年3月1日現在）。変更となる場合があるのでご注意ください。
到達時間（目安）
- 3 緑区遺産の写真
- 4 緑区遺産の説明
- 5 申請・見守り団体からのコメント
- 6 緑区遺産の場所
- 7 【ちよい知識】
緑区遺産にまつわる豆知識などを紹介
- 8 【ちよいスポット】
緑区遺産の近くにある散策場所などを紹介
- 9 全て巡るのに要する時間（目安）

! Check! /

※本冊子は緑区遺産登録申請団体からの申請内容等を基にまとめたもので、掲載している説明文や豆知識の中には諸説がある内容も含まれています。また本文中には、身分差別等を表す用語も記述されていますが、これは歴史を正しく伝えるために、文献等の記述をそのまま使用したものです。



4. 緑区全体図



緑区遺産一覧

丸数字は緑区遺産登録番号
 ※ 諸事情により本冊子に掲載していない緑区遺産もあります。

- | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|---|--|--|------------------------------------|-----------------------------------|--|---|---------------------------|---|---|
| <p>1 みどりしんえいかい かいらい
緑新栄会 界隈</p> | <p>2 くぼやと たきさま
久保谷戸お滝様</p> | <p>3 ひがしほんごうだいちこうえん
東本郷第一公園
からの山岳展望</p> | <p>4 はくせんじんじや ひ
白山神社の碑</p> | <p>5 かみい すぎやまじんじや
鴨居杉山神社
の絵馬</p> | <p>6 ごはんづか
ごはん塚</p> | <p>8 まりふき たまき
奇利吹の瀧</p> | <p>9 おんだけり ねんぶつばしあと
恩田川の念仏橋跡</p> | <p>10 ねんじゆさか
念珠坂</p> | <p>11 もちづか
餅塚</p> | | |
| <p>12 たかおさん
高尾山</p> | <p>13 よこはません
横浜線の
岩川橋梁</p> | <p>14 せうやま ちやま
旧大山道と
神奈川道分岐
の道標</p> | <p>15 やま だうきやうの
山田右京之
進城跡碑</p> | <p>16 まぎさきせき
杉沢堰</p> | <p>17 しんめい やと
神明谷戸
お滝様</p> | <p>18 おお やまみち どうりやう
大山道道標</p> | <p>19 こ やま せとの さま
小山村殿様
荒川氏陣屋跡</p> | <p>20 せうやま したしやうがっこう
旧山下小学校
木造校舎・校門</p> | <p>21 いわがわ せき
岩川堰</p> | <p>22 いっとうさんかくてん
一等三角点
「長津田村」</p> | <p>23 ながつ たうせい
長津田統制
無線中継所跡</p> |

5. 緑区遺産紹介

鴨居駅周辺エリア

登録番号 8 **奇利吹の瀧** **鴨居二丁目** ◆平成27(2015)年登録

交通
電車：JR 横浜線「鴨居」駅南口から徒歩 10 分



奇利吹の瀧は、林光寺参道右側にあり、出羽三山の山岳信仰の人たち（出羽三山講）が、この滝に打たれて修行したといわれています。また、三山参りに行くとき、代表者がこの滝に打たれ行の無事を祈願したともいわれています。境内からは、都筑区方面の眺めも良く、桜や藤の花が素晴らしいです。



広く急な登り坂の参道中腹右手に、緑に囲まれ赤い地肌を見せる滝が現れます。参道は車の通行もありますので、周囲に注意して参拝してください。

登録番号 3 **東本郷第一公園からの山岳展望** **東本郷二丁目** ◆平成26(2014)年登録

交通
電車：JR 横浜線「鴨居」駅南口から徒歩 13 分



▲富士山（標高第1位 3,776m）

▼北岳（右側）（標高第2位 3,193m）

▼間ノ岳（左側）（標高第3位 3,190m）

公園内に設置された山岳展望図に記載されており、冬の晴れた日などには、国内標高第1位の富士山、第2位の北岳、第3位の間ノ岳と、上位三つの山をほぼ同じ場所から見るができます。この場所を「ビューポイント」と記載しているウォーキング地図もあり、年2回のダイヤモンド富士が見られる日（2月、10月）には、多くの人が訪れます。



東本郷ばらの会自治会

隣接地の樹木により景観が損なわれないよう、公園愛護会メンバーが見回りをし、枝打（木・枝の伐採）を地主の方へお願いするなどしています。



ちよい知識 **間ノ岳の標高**

間ノ岳の標高はもともと国内第4位でした。平成26(2014)年4月1日付で国土地理院が公開している「日本の山岳標高一覧」が更新されたことにより、奥穂高岳に肩を並べ国内第3位となりました。標高が変わった理由は、頂上などにある三角点を衛星の電波で測り直したことによるもので、以前より正確な標高となりました（更新前：3,189m）。



鴨居駅周辺エリア

全部巡ると約40分

5. 緑区遺産紹介

鴨居駅周辺エリア

登録番号
4

白山神社の碑

白山二丁目

◆平成26(2014)年登録

交通

電車：JR 横浜線「鴨居」駅南口から徒歩 15 分



白山神社の「仰神徳の碑」は、神社の氏子主体に集められた資財により、昭和 12 (1937) 年 1 月に竣成された社殿の記念碑として撰書されました。碑には、下猿山（現在の白山地区周辺）の村社であった神社が関東大震災などの被災で荒廃したこと、それを 10 余年後に地域が一致協力し再興したこと、その当時の神域に対する畏敬の念などが記され、歴史を伝えています。

白山神社と仰神徳の碑には、地域住民が散歩する時に、多くの方が立ち寄り参拝されています。地域住民にとって心の拠り所になっています。

申請団体



白山自治会

登録番号
5

鴨居杉山神社の絵馬

鴨居四丁目

◆平成27(2015)年登録

交通

電車：JR 横浜線「鴨居」駅南口から徒歩 10 分



「国姓爺合戦」和藤内の虎退治の段
絵師「歌川国喜三吉」



「鬼一法眼六韜三略」の段
絵師「歌川宗近」



「須佐之男命の八俣大蛇退治」の段



「牛若丸と弁慶」合戦の段



「楠公父子の別れ」の段



「拝み」の段

1850 ~ 60 年代頃に奉納され、当時の様子を伝える地域の貴重な歴史的資源として、鴨居杉山神社奉賛会に保存・管理されています。通常は非公開ですが、正月 1~3 日、杉山神社祭礼（9 月最終日曜日）や七五三の際に公開しています。

嘉永年間 75 戸の鴨居村で、大絵馬が神社に奉納されたことは、貴重な遺産と考えられます。



ちよいスポット

白山ハイテクパーク

白山ハイテクパークは、エレクトロニクスを中心とした先端技術産業の研究開発施設が集まる、横浜市の「ハイテクパーク第 1 号モデル」です。敷地内は緑が多く、地域に開放されているグラウンドもあります。パーク内の施設の一つ、ジャーマンインダストリーパークには、ドイツをはじめ様々な国の企業が入って研究等を行っており、建物内はドイツのシュヴァルツヴァルト（黒い森）をコンセプトに建設され、木目の美しいレストランやロビーにある壁一面の大きな窓にそのモチーフを見ることができます。



鴨居駅周辺エリア

全部巡ると約 50 分

白山神社の碑



白山神社

鴨居杉山神社の絵馬



杉山神社

ちよいスポット

女神像地神塔

鴨居稲荷神社には、享和 3 (1803) 年在銘の地神塔があります。花を挿した水瓶を両手で抱えた天女型立像を浮き彫りとしたものです。農村では、地神を土地の神様（農神）として崇めていました。地神塔の多くは文字塔で、神像の中でも武神の姿の男神像はありますが、女神像は特に希少です。この女神像地神塔は、横浜市指定有形文化財になっています。



右が女神像

5. 緑区遺産紹介

登録番号
6

ごはん塚

鴨居七丁目 ◆平成27(2015)年登録

交通

バス停：「鴨居七丁目」
(鴨居駅前から市営・神奈中バス119
系統・新井町経由 鴨居駅前行き、市営
バス172系統に乗り) から徒歩2分



ごはん塚は、元久2(1205)年に現在の旭区二俣川付近で起こった「二俣川の戦い」において、御家人**畠山重忠**が北条義時の軍勢に敗れた際、逃げ延びてきた家来たちが北条氏の追撃により討ち取られた地です。村人が亡骸を手厚く葬るために、この塚を建てたと言われています。「ごはん塚と呼ばれる由来は「ご飯の時に襲われたから」「旭区から鴨居まで5個の塚があったから」「ご飯を茶碗に盛ったような塚だから」など諸説あります。

ちよい知識

はたけやま しげただ
畠山重忠

畠山重忠が敗れた二俣川の戦いでは、北条氏数万の軍勢に対し、重忠側は僅か135騎だったと言われています。北条氏に謀反の疑いをかけられた重忠でしたが、幕府に対して異心はなく、「進んで討たれても武士の名誉を重んずる」と、国に帰って陣を立て直すことなくこの地で最期を遂げました。重忠は、NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」にも登場します。

「英雄三十六歌撰 畠山重忠」
(馬の博物館所蔵)



地神塔



緑区内でも古い年代の地神塔です(寛政12(1800)年)。地神塔についてはP.8参照。

民有地のため立入可能エリア以外には入らないください。立入可能エリアにおいても、ごみのポイ捨てや生物の採取などは絶対にやめてください。

門を向かって左側から回りこむ

門

立ち入り可能エリア

ごはん塚

鴨居七丁目バス停

拡大図



ごはん塚付近から見る青葉区・都筑区方面の景色はとても美しいよ！散策マナーを守ってね！



ちよいスポット

1

竹山池



竹山団地の中央には、団地のシンボルとも言える人工の「竹山池」があります。竹山池周辺活性化推進委員会による「かいぼり(P.18参照)」や外来種釣り(駆除)などで、池の清掃や在来種保全活動等が行われるとともに、夏には花火大会などの会場にもなっています。

ちよいスポット

2

竹山団地のイチョウ並木



ごはん塚から東に徒歩約10分です。秋の黄色く色づいたイチョウ並木は、散策するのにピッタリです。

ちよいスポット

3

鴨居原市民の森(北地区) 鴨居原市民の森(南地区)



南地区にある「ハンカチの木広場」からは、富士山や南アルプス連山、東京スカイツリー、横浜ランドマークタワー、新宿副都心のビル群等が望めます。

ちよいスポット

5

鴨居原遺跡



鴨居原市民の森(南地区)と神奈川区の間付近で、縄文時代早期の竪穴住居跡や陥し穴などが見つかりました。現在は埋め戻されており、遺跡の様子はうかがえません。

鴨居駅周辺エリア

全部巡ると約80分

5. 緑区遺産紹介

中山・十日市場駅周辺エリア

登録番号
1

みどり しん えい かい かい わい

緑新栄会 界限

台村町 ◆平成 26(2014) 年登録

交通

電車：JR 横浜線・市営地下鉄グリーンライン「中山」駅南口から徒歩すぐ



昭和 40 (1965) 年代頃から飲食店街が形成された緑新栄会界限には、昭和の雰囲気を残す街並みが続きます。レトロなファサードや看板、狭く入り組んだ道などが雰囲気を演出しています。普段は大人の街ですが、盆踊り際には浴衣を着た子どもたちで会場があふれ、まさに昭和を思い出させるイベントです。

緑区遺産第一号に登録された緑新栄会界限は区内では数少ない飲食店街で、昭和レトロの情緒ある街並みです。懐かしさと楽しさがあり、そして個性的な各店主たちがいます。仕事の疲れを癒しにお気に入りのお店を探してみませんか？



登録番号
2

く ほ や と たき さま

久保谷戸 お滝様

三保町 ◆平成 26(2014) 年登録

交通

電車：JR 横浜線・市営地下鉄グリーンライン「中山」駅南口から徒歩 20 分
バス停：「住宅前」（中山駅前から神奈中バス中 53 系統、中 54 系統、横 52 系統に乗車）から徒歩 4 分



旧久保村にかつてあった一条の滝は、自然崇拜の対象として農民から大きな尊敬を集めていました。文政 4 (1821) 年の大旱魃の際には、雨ごいの祈願成就がなかったため、不動尊像を建てたと伝えられています。今は水は流れていませんが、もともと灌漑用の水源地で、昔は崖の上から大量の水が流れ落ちていました。室町時代の高僧・印融法印 (P.14 参照) がこの滝で修行したとも伝えられています。



お滝様講中の皆さまによる定期的な清掃活動などにより綺麗な状態に保たれています。人影まばらな川沿いの道に、深い緑と清流に囲まれたお滝様は、この地域の平和・安全・親睦を静かに見守っています。

申請団体
久保谷戸 お滝様講中

コロナ禍までは毎年お寺のご住職をお願いして祈年祭を実施してきました。大通りから外れて目立ちにくい場所にあります。多くの人に訪れてほしいです。

ちょい知識

緑区音頭

「緑区音頭」は、歌手の山本譲二さんが作曲・歌唱しています。緑区の活性化を図り、区全体のイメージアップを目的に、「緑区、この街が好き」とともに平成 9 (1997) 年に作られました。「緑区音頭」には振付がありますので、盆踊りや体育祭などで活用できます。緑区 web からダウンロードできるほか、緑区地域振興課では CD を貸し出しています。



ちょい知識

久保谷戸の 2 体の不動尊像

昭和 36 (1961) 年、滝上方に崖崩れが発生し、不動尊像が行方不明になりました。毎年草刈りや祈年祭の際に探しましたが見つからず、仕方なく講中農家が浄財を集めて像の再現を図りました。そして 14 年後の昭和 50 (1975) 年、この地域に集中豪雨が発生しました。自治会の被害調査の折に、下流の水中に埋没した不動尊像が見つかったのです。これが 14 年間行方不明だった不動尊像と確認され、現在は 2 体の不動尊像が並んで祀られています。

中山・十日市場駅周辺エリア

全部巡ると約 30 分

5. 緑区遺産紹介

登録番号
15

山田右京之進城跡碑

三保町

◆平成 29(2017) 年登録

交通 電車：JR 横浜線・市営地下鉄グリーンライン「中山」駅南口から徒歩 16 分
バス停：「宮根」（中山駅前から神奈中バス中 53 系統、中 54 系統、横 52 系統に乗車）から徒歩 8 分



山田右京之進城跡碑は、三保町の久保山舊城寺にあります。この地は大昔、山田右京之進の居城があったと言われています。室町時代に、自然の丘陵地を利用して上杉憲清が築いた城は、榎下城と言われていました。榎下城は、当時城主であった憲直（憲清の子）が永享の乱に敗れて金沢称名寺で自決して以来、城主は不明ですが、小田原北条氏の時代にも小机の出城の役目を果たしていたとも考えられています。その後、慶長 19（1614）年に久保村の長の遺言により、舊城寺が創建されました。この場所は市内でも数少ない中世の城郭遺構を残す、貴重な歴史遺産で、森林は県指定天然記念物に指定されています。なお、山田右京之進城跡碑は、緑区遺産⑨奇利吹の瀧同様、**県下名勝史蹟四十五佳選**（P.6 参照）の当選記念として昭和初期に贈呈されたものです。

中山・十日市場駅周辺エリア

山門より境内に入り少し歩くと着きます。この一画が約 600 年前に城が建てていた場所です。碑の裏側の崖では、今も当時の土塁跡を見ることができます。ここに立ち目をつぶり、当時の城と周辺の風景を空想しに足を運んでみてください。



申請団体
緑区遺産
三保町保存会

登録番号
9

恩田川の念仏橋跡

小山町

◆平成 28(2016) 年登録

交通 電車：JR 横浜線・市営地下鉄グリーンライン「中山」駅南口から徒歩 17 分



現在の小山橋は、昭和 40（1965）年代以前に「念仏橋」と呼ばれていました。室町時代に観護寺の住職を勤めた印融法印が、念仏を唱え托鉢をして浄財を集め、人々の往来のため、恩田川に土橋を架けたのが始まりと伝えられています。印融法印は多くの著作を残し、観護寺でも弟子の養成をしました。特に読書が好き、小牛に乗り移動する時も鞍に文卓、角には経巻を付け、お経を唱えて詩歌を口ずさんでいたと言われています。

念仏とは、仏様の姿や功徳を思いながら、名前や真言を唱えることです。印融法印が念仏を唱え渡った念仏橋はとても御利益があるのではないのでしょうか。ぜひ皆さまも仏様を思い浮かべながら渡ってみてください。



申請団体
駕牛会

ちよいスポッ
円光寺

円光寺で有名なのは、閻魔様の御縁日です。その昔、毎年 1 月 16 日と 8 月 16 日に行われました。御縁日には多くの老若男女の参詣人で賑わい、若い男女にとっては縁結びの絶好の機会でもありました。現在では廃れてしまった行事ですが「縁結びのえんま様」は今も祀られています。

※閻魔様の御縁日：休みなく働く地獄の鬼たちが休む「地獄の釜開き」と言われる日で、地獄に落ちた亡者達も責苦を逃れると言われていました。奉公人たちは休日となり、里帰りの時に、閻魔詣でに出かけていたようです。



ちよいスポッ
観護寺

印融法印（1435～1519 年）は現在の三保町で生まれ、高野山の無量光院の院主となりましたが、関東の真言密教の衰退を憂えて下山し、関東各地の寺院の再興に努めました。各地を回る中で拠点としていたのが観護寺でした。観護寺には印融法印が眠る墓所や自身が高野山から持ち帰り植えたと言われる菩提樹の古木などがあります。



中山・十日市場駅周辺エリア



全部巡ると約 40 分

5. 緑区遺産紹介

中山・十日市場駅周辺エリア

バス停から徒歩8分

登録番号
19

こやまむらとのさまあらかわしじんやあと
小山村殿様荒川氏陣屋跡
小山町 ◆令和2(2020)年登録

交通 バス停:「新治小学校前」(中山駅から市営バス23系統、98系統、205系統に乗り)から徒歩8分



天正18(1590)年に小田原北条氏が豊臣秀吉に滅ぼされ、代わって徳川家康が関東に入りました。翌年の天正19(1591)年に武蔵国都筑郡小山村(現:小山町)は、同国橋樹郡江ヶ崎村(現:鶴見区江ヶ崎町)とともに、徳川家康の三河時代からの家臣であった旗本・荒川長兵衛重世が治める土地となりました。現在の千葉県、埼玉県にある知行国も合わせると重世が治めた土地は、合計で**850石**になります。
重世は、小山村を本拠地として村内を流れる恩田川のほとりに陣屋(屋敷)を構えていたと伝えられています。陣屋があった場所は昭和38(1963)年の恩田川の改修工事により南北に分断されてしまいましたが、後世に伝えるための記念碑に当時の屋敷位置をみることができます。

ちょい知識

石高

石高とは、土地の生産高を「石」という単位で表したものです。1石(1,000合)は大人ひとりが1年間に食べるコメの量が相当していたので、850石は、850人分のコメが生産できる土地を有していたことになります。

850石ってどのくらいだろう

記念碑にはより詳細な説明が書かれているよ。荒川家とその家臣達に思いを馳せてみよう!

19

小山村殿様 荒川氏陣屋跡

新治小学校前バス停

新治小学校入口

0 100m

ちよいスポット

田園風景と電車

陣屋跡から恩田川沿いを東へ約5分歩くと、川の南側には田園風景が広がります。田んぼのすぐ隣を横浜線電車が走っているのは緑区ならではの光景です。

申請団体
荒川家家臣の会

記念碑をきれいに保つため盤面を拭いたり、防草シートを敷いたりするなどして管理しています。

登録番号
20

きゅうやまししたしょうがっこうもくそうこうしゃこうもん
旧山下小学校 木造校舎・校門
北八朔町 ◆令和2(2020)年登録

交通 バス停:「山下小学校前」(中山駅北口から市営バス90系統、東急バス青90系統に乗り)から徒歩2分



▲昭和50～60年代の旧山下小学校校舎



▲昭和50～60年代の旧山下小学校階段

横浜市立学校の木造校舎としては最後まで使用されて唯一現存しており、県内でも戦中期の木造校舎としては唯一現存する貴重な歴史的建造物です。特に木造階段は、建設当時のオリジナルのまま残されており、躯体(建物の骨組みなどの構造体)部分にも建設当時の部材が残っています。また、校門の門柱や門扉も廃校前のものが現存し、小学校の面影を残しています。
旧山下小学校は昭和61年の廃校後、地域の強い要望で山下地域交流センターとして再生し、地域に長く愛されましたが、耐震構造上の問題から、令和7年3月31日をもって、惜しまれつつ、一時閉館されることとなりました。(現在は、校舎内に立ち入ることができません。)

ちょい知識

山下学舎文化祭

作品展示の様子 (Google ストリートビュー)

旧山下小学校 年表

1942 (昭和17)	現在の山下地域交流センターとして姿を留める木造校舎部分が建てられる (横浜市立山下国民学校)
1947 (昭和22)	横浜市立山下小学校と改称
1974 (昭和49)	山下小学校の分校となる
1986 (昭和61)	横浜市最後の分校として廃校
1988 (昭和63)	山下地域交流センターとして新規着工
1989 (平成1)	山下地域交流センターオープン
2025 (令和7)	山下地域交流センター一時閉館

20

旧山下小学校 木造校舎・校門
(山下地域交流センター)

山下小学校前バス停

谷津田原住宅入口

0 100m

ちよいスポット

きたはっさくこうえん
北八朔公園を抜けて 港北パーキングエリア(下り)へ

地図はこちらからダウンロード (十日市場・中山北のウォーキングコース)

北へ足を延ばすこと徒歩約30分。身近な生き物が生息できる池やせせらぎ、雑木林や竹林を生かした散策路など、自然とのふれあいを楽しめる北八朔公園があります。公園内の緑道を抜けると、東名高速道路・港北パーキングエリア(下り)に出ることができます。たくさん歩いたご褒美に美味しいご飯を食べたり、お土産を買ったりしてみたいか。 ※車には十分お気を付けください

中山・十日市場駅周辺エリア

バス停から徒歩2分

5. 緑区遺産紹介

中山・十日市場駅周辺エリア

登録番号 16 すぎ さわ せき 杉沢堰

三保町

◆平成29(2017)年登録

交通

バス停：「杉沢」（十日市場駅前
から市営バス23系統・三保中
央行きに乗車）から徒歩5分



三保市民の森を源流とする梅田川は、江戸時代から稲作が盛んな地域の重要水資源でした。水田に水を引くには川を堰き止める必要があり、何か所かの「堰」が作られました。「杉沢堰」もその一つで、江戸時代は木製のものだったと想像できますが、昭和初期に貴重なコンクリート製が完成し、杉沢地域の稲作に貢献しました。昭和40(1965)年代以降、谷戸付近に徐々に住宅が建ち始め、水田が消失してきたことで堰の役割も失っていききましたが、現在でも西側の谷戸からの流れは、お滝橋を渡り堰に注がれ、昔ながらの姿を残しています。杉沢堰は、江戸時代からの堰を利用した灌漑農業の営みを伝える遺構として、令和5(2023)年に横浜市認定歴史的建造物に認定されました。

登録番号 17 しん めい や と たき さま 神明谷戸 お滝様

三保町

◆平成29(2017)年登録

交通

バス停：「杉沢」（十日市場駅前
から市営バス23系統・三保中
央行きに乗車）から徒歩5分



三保町神明谷戸地区のお滝様は、稲作に不可欠な水が絶えぬ事を祈って、梅田川に築かれた灌漑用水の取水堰のそばに祀られてきました。江戸時代には後方の山から清水が湧き出ていて、堰があるあたりが滝となり、川に流れ込んでいたので「お滝様」と呼ばれてきたようです。堰も水路も昭和初期にコンクリート化されましたが、その後も大量の水を流して、長く田畑を潤しました。現在は堰は役目を終え、不動明王像が残っています。

16 先人たちが食糧確保のために人力で水源工事を行い、生活していたことを教えてくれる建造物です。訪問者に安全に、いしえを偲んでいただけるよう、四半期ごとに担当グループで草刈りと清掃作業を行い、維持管理しています。



17 杉沢堰と同じメンバーで管理しています。以前は、10m程奥の岩盤から水が流れ出ており、その近くに石像が安置されていましたが、緑区遺産登録に伴い、現在の場所に移設されました。

ちよいスポット



▲主屋

きゅうおく つ てい 旧奥津邸

平成13(2001)年に、この地域に古くからお住まいになっていた奥津家の方々から、家屋敷と緑地が横浜市に寄贈され、家屋敷一帯が「新治里山公園・にいほる里山交流センター」となりました。主屋は昔ながらの木造建築の作り方で、くぎを使わずに継手や仕口により組み立てられており、古い農家の面影を残した民家造りです。江戸時代末期に建てられた長屋門と大正15(1926)年に建てられた土蔵は横浜市認定歴史的建造物に認定されています。

ちよいスポット



わらアートの馬

新治里山公園には、緑区産の藁や竹で作られた馬「はるちゃん」が展示されています。緑区制50周年記念事業「わらアート」で誕生し、当初は小山町の田んぼに展示されていましたが、事業終了後は、この納屋で過ごしています。



梅田川遊水地

梅田川遊水地では、水中の生物観察をしたり野鳥撮影をしたりと、ひらけた水辺空間の中で自然を感じることができます。三保町を源流として恩田川と合流する梅田川流域には、ホトケドジョウなどの貴重な在来種が生息している一方で、コイやカワリヌマエビ属などの外来種も確認されています。在来種を守るため、令和2(2020)年には地域の方々とともに、かいほり(池から水を抜き、清掃や池の破損箇所の点検、在来種の保全等を行うこと)が行われました。横浜市が管理する遊水地は、市内に10か所あり、洪水時には河川水を溜めることで、下流の水位を下げる役割があります。



ちよいスポット



中山・十日市場駅周辺エリア

全部巡ると約40分

5. 緑区遺産紹介

中山・十日市場駅周辺エリア

登録番号
10

念珠坂

三保町

◆平成29(2017)年登録

交通

バス停：「三保橋」または「坂下」
(中山駅前から神奈中バス中53系統、横52系統に乗車)から徒歩5分



「坂下」バス停から念珠坂公園に上る、ぜひ一度は来てほしい坂道です。夏でもちよいと涼しく、秋には紅葉も映え、行き交う人に笑顔が生まれるそんな「念珠坂」です。



三保念珠坂公園愛護会

念珠坂は、梅田の坂下から三保念珠坂公園等へ上る坂です。梅田から舊城寺方面、あるいは杉沢を経て榎下に抜ける古道のひとつで、念珠坂に立つと寂寥たる感覚に襲われる、そのようなところ。坂を登った先にある三保念珠坂公園の広場からは、新治市民の森や十日市場方面を見渡すことができ、眺めの良い場所となっています。ひと昔前までは、木々が覆い被さり屋でも暗く、崖は風雨で崩れ、足元は赤土層がむき出しとなっていました。とてもきつい坂で、坂を登ったところに茶屋もあり、難渋坂とも呼ばれていたという説もあります。昭和18(1943)年に宮根(三保)の杉山神社と梅田坂下間の新道ができるまで、村の人達はこの狭く急な坂道を往来しなければならず、とても苦勞しました。

登録番号
18

大山道道標

三保町

◆平成29(2017)年登録

交通

バス停：「三保市民の森」
(中山駅前から神奈中バス中53系統、横52系統に乗車)から徒歩1分



幕末の嘉永2(1849)年に梅田講中によって建てられた庚申塔です。大山信仰が盛んだった頃に、大山へ向かう人たちのために刻まれた道標で、庚申塔には、左が「大山みち」、右が「さくばみち」と刻まれています。さくば(乍場)は、当時の農耕地を示したもので、さくばみちは農地で行き止まりとなっており、大山道へ進む人が道を間違えないための道標となっていました。現在では年間を通して、三保市民の森愛護会が、庚申塔の周りの草刈りや道路の落ち葉清掃を行っています。

地元の人からは道標付近一帯の呼び名として「庚申様」と呼ばれています。三保市民の森入口道路脇に建てられていて、その脇には「緑区遺産」の標識があり、三保市民の森来園者の目に入りやすくなっています。



緑区遺産
三保町保存会

ちよいスポット

新治市民の森



念珠坂の西方にある新治市民の森には「谷戸」の風景がよく残されており、斜面の雑木林や谷筋のスギ林と共に、市内では少なくなった「谷戸田」も見ることができます。毎年、田植えや稲刈り体験なども実施しています。

※谷戸：丘陵大地の雨水や湧水等の浸食による開析谷を指し、三方(両側、後背)に丘陵台地部、樹林地を抱え、湿地、湧水、水田等を構成要素に形成される地形のこと。

※谷戸田：谷戸に開墾された水田。谷戸には湧水があり、洪水被害はなく、開田のための高度な技術も不要であったため、横浜の水田開発は谷戸田から始まったと考えられています。



石仏・神社 ③



石仏・神社 ②



石仏・神社 ④



18

大山道道標

三保市民の森



大山道道標を左に進むと、三保市民の森が広がります。ここでは市内でも有数のシダ群を見ることが出来ます。日本で見られる630種のシダ植物のうち、約6分の1の種類が生育しています。

念珠坂⇄大山道道標
徒歩約15分だより
途中に石仏や神社(鳥居)がいくつかあるよ。



※急な階段あり。
滑りやすいので注意!

中山・十日市場駅周辺エリア

全部巡ると約70分

5. 緑区遺産紹介

登録番号
11

もちづか
餅塚

長津田みなみ台七丁目 ◆平成29(2017)年登録

交通

電車：JR 横浜線・東急田園都市線
「長津田」駅南口から徒歩 22 分
バス停：「上の原」（長津田駅前から市
営バス 98 系統に乗車）から徒歩 6 分

申請団体



上の原グリーン
ハイッ自治会

餅塚が緑区遺産に登録される前は、この場所は
荒れ放題でした。登録後は付近住民の意識
も変わり、歴史の場所として見守り活動を行
っています。有志が春と秋に草刈りをし、
U字溝の清掃も行っています。盆にはお花と
お水が供えてあります。



「餅塚」の塚の上には昭和 30 (1955) 年以前は小さな祠がありました。祠が朽ち果て、昭和 60(1985) 年に地元の有志が現在の石碑を建てました。石碑は 2m くらいで、正面に「十日市場地区土地関係萬霊大供養」と、側面には「餅塚」の文字が刻まれています。この餅塚は、老婆が塚の脇で餅を売っていたと言われることが地名の由来とされています。近くには処刑場があったと言われており、処刑場まで泣きながら歩いたとされる坂は、泣坂と呼ばれました。餅塚は上の原公園にあります。周辺は桜の木があり、満開になる春はとてもよい景観が見られます。

ちよいスポッ



おのたちらくん
御野立落雁

大正 10 (1921) 年に皇太子殿下（後の昭和天皇）が陸軍大演習を統監されるためにお立ちになった場所です。皇太子殿下は記念に松を植えられ、その後約 7m の「皇太子殿下御野立之跡」の碑が建てられました。周辺の街並みを一望できる見晴らしの良い場所でもあります。なお、落雁とは雁が空から舞い降りる様子です。

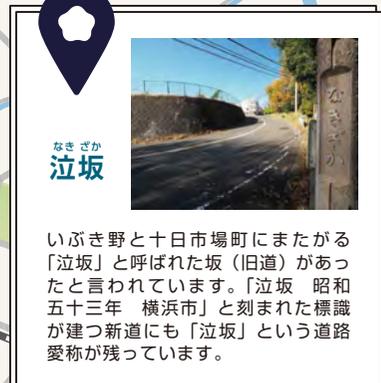
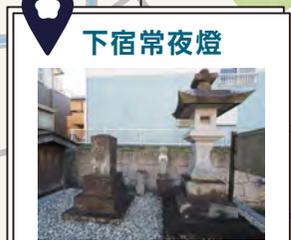


ちよいスポッ



かみじくじょうやとう しもじくじょうやとう
上宿常夜燈・下宿常夜燈

大山参りが盛んになった江戸時代に、長津田は宿場町として栄えました。宿場内には旅館、食べ物屋、かご屋、酒屋、餅屋、せんべい屋などが並び、訪れる人をもてなしました。宿場の入口には常夜燈があり、たどり着いた旅人を歓迎するための灯火が灯されていました。なお、上宿常夜燈（大石神社内）には、火事が起きないようにとの願いも込められています。2基の常夜燈は、ともに横浜市地域史跡に登録されています。



長津田駅周辺エリア

長津田駅周辺エリア

全部巡ると約70分

5. 緑区遺産紹介

長津田駅周辺エリア

登録番号
21

いわ がわ ぜき 岩川堰

いぶき野

◆ 令和 3 (2021) 年登録

交通
電車：JR 横浜線・東急田園都市線「長津田」駅南口から徒歩 11 分



岩川は、現在の東名高速横浜町田インターチェンジ付近から湧き出す水が、岡部・中村・御前田・下長津田流れ、恩田川に注いでいます。かつての長津田では、田んぼはおおむね岩川の両側に作られました。岩川の水は周辺農地の灌漑に使われるとともに、精米にする際の重労働を担う水車にも使われました。下長津田の灌漑にかかせない岩川堰は、大正 12(1923) 年の関東大震災で大破しましたが、国や県の助成金と地元の有志が出資した工事費で、大正 15(1926) 年にコンクリート堰に改修されました。現在は堰としては使用されていませんが、改修工事について岩川堰改造記念碑に記されています。



ちょい知識

堰で分かれる水の行方

堰があることで岩川は、本流と水路に分かれます。水路を辿ると横浜線で突き当たりますが、よく見るとかつては水が通り抜けていた穴があります。水の行方を追うことで、線路北側の田んぼでも灌漑用水としての役割を果たしていたことが分かります。



登録番号
14

きゅう おお やま みち か な がわ みち ぶん き みち しるべ 旧大山道と神奈川道分岐の道標

長津田六丁目

◆ 平成 29 (2017) 年登録

交通
電車：JR 横浜線・東急田園都市線「長津田」駅南口から徒歩 8 分



拡大



この台石が重要です!

旧大山道と神奈川道が分岐するところに、江戸時代在銘の石仏があります。石仏の台石には、「向テ右リ かな川 左 みそノ口」と刻まれており、分岐を示す道標となっています。当時の交通標識の類のものとして存在し、大山道や神奈川道などに行き交う人々の案内となっていたと言われていました。

昔の人は大山道を
通って大山に
向かっていたんだ
(大山信仰)



ちょい知識

大山信仰

大山は相模平野の中央にそびえ立つ標高 1,252m の山です。神仏の宿る霊山として、古くから多くの人たちの厚い信仰を集めてきました。特に江戸時代中期以降には、庶民が五穀豊穡・雨乞い・家内安全・商売繁盛などを求めて、盛んに「大山参り」が行われました。このため、各所に大山に通じる大山道や大山道標が開かれ、神奈川県内には数多くの道標が存在します。

道標が置かれていた場所は、整地される前は栗林の裾でした。整地の際に、それまで欠けてしまっていたお地藏様の頭を土地の所有者が作ったので、頭だけ新しくなっています。地元の人は、お地藏様として拝み、道標としての認識は少なかったようです。



登録番号
13

よこ はま せん いわ がわ きょうりょう 横浜線の岩川橋梁

いぶき野

◆ 平成 29 (2017) 年登録

交通
電車：JR 横浜線・東急田園都市線「長津田」駅南口から徒歩 14 分



明治 41 (1908) 年に開業した横浜鉄道 (現：JR 横浜線) に架かる石積みの橋梁です。いぶき野を流れる岩川に架かるもので、大正 12 (1923) 年に起きた関東大震災にも耐えるほどの強度を持ち、石積みの技術力の高さが認められる橋梁と言われています。横浜鉄道開業から 100 年以上経った今も現存する数少ない石積橋梁で、貴重な近代土木遺産としても評価されています。

※撮影地点は、一般の立ち入りはできません。

ちょい知識

時代とともに変わる電車

現在の JR 横浜線では、銀色の車体に緑と黄緑のラインカラーの電車が走っていますが、昭和の時代には「チョコレート電車」の愛称で親しまれた茶色の電車が走っていました (昭和 54 (1979) 年運行終了)。また、昭和 47 (1972) 年以降は、他線の中古車が転入し、スカイブルーやウグイス色の電車なども見られました。現在と見た目がよく似た電車が登場したのは、昭和 63 (1988) 年です。時代とともに、私たちが乗ってきた電車も、様変わりしていきました。



中山橋から鶴居駅方面を撮影
撮影者：若岡 茂次 様
撮影時期：昭和 53 年

5. 緑区遺産紹介

長津田駅周辺エリア

バス停から徒歩7分

登録番号
12

たか お さん
高尾山

長津田町 ◆平成29(2017)年登録

交通 電車：東急田園都市線
「すすかけ台」駅から徒歩20分
バス停：「高尾原」（長津田駅前から
神奈中バス津01系統に乗車）から
徒歩7分

緑区の高尾山は、緑区最西端の長津田辻地域にあり、区内で最も標高が高い山です。（標高：100.46m）山頂には「飯縄神社」が祀られ、地元長津田辻・岡部谷戸地域の氏子によって毎年4月上旬に祭礼が行われています。

大山・丹沢・富士・箱根・秩父方面の眺望が素晴らしいところでもあります。また、西側の斜面地は、市域でも極めて少ないとされる縄文時代晩期の埋蔵文化財包蔵地として、考古学上も貴重な場所となっています。



すすかけ台駅からの地図はこちらからダウンロード（長津田地区のウォーキングコース）



▲高尾山頂上付近からの丹沢山地方面 ※山の名前と位置は目安です



登録番号
22

いっとうさんかくてん
一等三角点「長津田村」

長津田町 ◆令和5(2023)年登録

交通 電車：東急田園都市線
「すすかけ台」駅から徒歩20分
バス停：「高尾原」（長津田駅前から
神奈中バス津01系統に乗車）から
徒歩7分

明治時代、統一された規格と高い精度で国土を把握することを目指し、全国に一等三角点が設置されました。一等三角点でつくった三角形の三角測量を重ね、地図の骨組みとなる一等三角網が作られていきました。横浜市内で唯一の一等三角点の点名（三角点の名前）は「長津田村」といい、緑区高尾山の山頂にあります。明治16年、三角形の底辺として長さを実測した相模野基線（※）から「長津田村」を頂点とする三角形が結ばれ、全国を覆う一等三角網に繋がっていきました。後の5万分の1地形図に繋がる取組みがここから始まりました。

※相模野基線：一等三角点「下溝村」（相模原市指定文化財「相模野基線北端点」と一等三角点「座間村」（座間市指定重要文化財「相模野基線南端点」）を結ぶ直線で、明治15年に5209.9697mと観測されました。「我が国近代測量の発祥地」として公益社団法人土木学会の選奨土木遺産になっています。



長津田駅周辺エリア

登録番号
23

ながつたとうせいむせんちゅうけいじょあと
長津田統制無線中継所跡

長津田町 5724 ◆令和7(2025)年登録

交通 電車：東急田園都市線
「すすかけ台」駅から徒歩13分
バス停：「高尾原」（長津田駅前から
神奈中バス津01系統に乗車）から
徒歩0分

長津田統制無線中継所は、東京から博多までをつなぐ無線電話回線の幹線をつくることを目的として、太平洋戦争中に建設が始まりました。当時の最新技術だった超短波多重通信の技術による画期的な計画でした。無線を受けるアンテナ柱は、3本の木柱を継いで25メートルもの高さ確保しました。戦争末期、当初の計画にはなかったことですが、長津田統制無線中継所は、富士山頂に急速建設された富士無線中継所とともに八丈島基地からのB-29爆撃機襲来を伝える役割を担いました。八丈島からの情報が司令部に伝えられ、空襲警報が発令されました。戦後の飛躍的な通信技術発展に伴い、昭和31(1956)年に長津田統制無線中継所が廃局になると、木製のアンテナ柱の一部は長津田辻自治会に引き継がれ、その後、半世紀にわたって火の見半鐘の柱として地域を見守り続けました。



▲昭和30年頃の長津田統制無線中継所。敷地内には官舎があり、地域とも深い交流がありました。



▲アンテナ木柱の一部は火の見半鐘の柱として再利用されました。